

3. 添付資料:活動報告書

ダリット女性の保健部門への平等なアクセスプロジェクト

2013 年4 月～2014年3月

活動報告書

はじめに

FEDO（フェミニスト・ダリット協会）は20年以上ネパールのダリット女性の諸問題に関する活動を行ってきました。FEDO パルサ支部は、ネパール中部のシルシヤVDC（村落開発委員会）とビルグング市の「保健部門のプログラムにおけるダリット女性の平等なアクセス」プログラムを中心に、浄土宗平和協会の支援をえて、この3年間活動を行ってきました。その活動において、FEDO パルサ支部は政府機関および非政府機関に対してダリットコミュニティの問題を提示してきました。

世界は進歩を遂げている中、ネパールのダリット女性は、女性に対するさまざまな形態の暴力や保守的な文化と伝統などに抑圧されています。ダリット女性たちの健康や教育に関する現状を見れば、彼女たちが進歩から取り残されていることがよく分かります。FEDOパルサ支部はこうしたダリット女性の状況を改善し、女性たち自身が保健サービス利用の権利について学べるようなプロジェクトに取り組んできました。

年間の活動のまとめ

本プロジェクトはダリット女性の保健部門への平等なアクセスを保障することを目的としてますが、それを行なうことにより、女性たちが力をつけることも大きな狙いです。そのため、プロジェクトを通して、意識高揚のためのトレーニング、環境清掃集会、病気への知識を高める集会、各戸訪問、調整会議、地元関係者との会合などを行なっています。女性たちの啓発や人権トレーニングには、DVを含む女性に対する暴力、子どもの権利、少女の人身売買、子どもの教育、家族計画、衛生問題などをテーマに行ってきました。全体的にみて、プロジェクトは順調に進みました。

番号	内容	実施回数	第一四半期	第二	第三	第四
1	ダリット女性グループの動員・強化	30	8	8	8	6
2	各戸訪問による啓発活動	12	3	3	3	3
3	地方自治体とその他の利害関係者との調整、協同などの通常の活動	2	1			1
4	ピア教育者トレーニング	1	1			
5	政府機関へのロビー活動	6	2	1	2	1
6	VDC交流プログラム	2	1		1	
7	ピア教育者との交流	2	1		1	
8	安全な母子保健に関するトレーニング	1		1		
9	衛生意識高揚集会	2		1		1
10	本部からのモニター	1		1		
11	支部事務所からのモニター	6	1	2	2	1
12	報告	4	1	1	1	1

1. ダリット女性グループの動員や強化

2013年4月1日から2014年3月まで、シルシヤVDCとビルガンジ町にある27のFEDOグループが、女性の健康、家族計画、避妊、性病理解、そしてHIV/AIDSに関して積極的に活動しました。グループは月例の会合をもち、女性への暴力やDV、女性の健康、女性の権利などについて議論を保健プロジェクトに参加したダリット女性たちから、5つのダリット女性グループがシルシヤVDCで、22のグループがビルガンジで結成されています。グループは月例会議を開き、女性の暴力、健康、女性の権利などについて話し合いました。加えて、どのようにしてグループの財政を支えるかなどについても話し合いました。月例会議は以下の問題を中心にとりあげました：

- ・衛生
- ・予防接種と栄養管理
- ・肺結核とHIV/AIDS
- ・安全な母性
- ・性感染症
- ・家族計画
- ・ハンセン病 他

グループ会合による成果

a) 次の7つのグループが貯蓄の取り組みを開始しました。

ドゥルガ・ダリット女性グループ、ジャグリティ・ダリット・マヒラサムハ、ガハワマイ・ダリット女性グループ、ジャヤマハビハル・ダリット女性グループ、アトゥマニルヴァル・ダリット女性グループ、チェタナ・ダリット女性グループ、サンサリ・ダリット女性グループ

b) ドゥルガ・ダリット女性グループとガハワマイ・ダリット女性グループは18万ルピー貯蓄をしました。

c) ジャグリティ、ジャヤマハビハル、アトゥマニルヴァルの各グループは1万1千ルピーをもって合同で出資農業グループとして公的な登録を行ないました。

d) ダリット女性たちは家の中や周辺地域を掃除するようになりました。

e) ダリット女性たちに3,000個のコンドームを配布しました。

f) ダリット女性たちは、頭にベールなどの被り物をしないで家の外に出るようになりました。

2. 各戸訪問による啓発活動

FEDO パルサ支部はダリット女性の保健サービスへの平等なアクセスのために、ダリット女性のグループを作り、トレーナーやピア（仲間）教育者の協力をえながら、地区の各戸を訪問し、保健に関する問題に関心をもってもらう活動をしてきました。各戸訪問では、ピア教育者がターゲットグループの家を回り、衛生問題やさまざまな病気について説明をしました。また、家族計画を説明し、避妊具を渡して実践するよう求めました。各戸訪問の実績は次の通りです：

- ・世帯数： 390
- ・女性： 1114人
- ・男性： 1175 人
- ・合計： 2298 人

各戸訪問の成果

- ◆ 各家族は家族計画について十分知らされた。
- ◆ 家族計画に必要な器具を配布した。
- ◆ 他のカーストの人びとも保健について情報を得た。
- ◆ このプログラムは好評で、良い反応が返ってきた。

3. 地方自治体当局とその他の利害関係者との定期的な会合、調整、連携：

浄土宗平和協会の財政支援をえて、この3年間、FEDO パルサ支部の“ダリット女性の保健部門への平等なアクセス”プロジェクトは実施されてきました。このプログラムのもと、2014年2月28日に地元の関係者が集まり、ネパール医師会の会館で調整会議を開きました。会議には男性15人、女性8人、合計23人が集まりました。

次のような提案や約束が参加者より出ました：

- ▶ ダリットのための基金を設立すべきだ。
- ▶ 次のダリット対象のプログラムもダリットの発展を目的にするべきだ。
- ▶ このプログラムは基本的にダリットコミュニティのためのものであり、非常に効果がある。

4. ピア教育者トレーニング

21世紀においてもネパールのダリット女性たちは、DVを受け、古くからの慣習や社会の規律により縛られています。さらには、健康状態、教育レベル、病気などの要素が女性たちの生活に影響を及ぼしています。トレーニングの主な目的はダリット女性をエンパワーすることであり、ダリットコミュニティの病気罹患率を低くすることです。トレーニングには以下の課題を含めました：

- ル 性感染症
- ル 肺結核
- ル 膀胱炎
- ル HIV/AIDS
- ル 栄養不良
- ル 下痢、他。

トレーニングは2013年5月26-28日の間、ピア教育者により実施されました。2人のファシリテーターと35人の受講者が集まりました。

5. 政府機関へのロビー活動

FEDOの地区コーディネーターと理事会は、地区の家畜事務所、地区保健事務所、全国報道委員会、地区家畜事務所、地区AIDS調整委員会、パルサ地区協同組合事務所を訪問し、プロジェクトについて話し合い、ダリット女性の保健サービスへの平等なアクセスへの権利のためにロビー活動を行ないました。

このプログラムの成果は：

- ② 2つのダリット女性グループが農業グループに登録した。
- ② 30人の女性に種子を配布した。
- ② 1人の女性に無料で種子をあげた。
- ② 農業グループに1日トレーニングを行なった。
- ② 協同組合発展のために地区協同組合事務所から42,000ルピーが渡された。

- ② メディアにダリット女性の意見や声がとりあげられるようにした。
- ② ダリットコミュニティが行うHIV/AIDSおよび性感染症に関する社会意識教育の取り組みのすべてに、
政府機関は助成金をだして協力すると約束した。

6. VDC 交流プログラム

地元の政府機関との調整のために、シルシャVDCで地区レベルの会議が2013年8月30日、町レベルの会議が2014年2月23日に開催されました。保健部門におけるこの問題について話し合いが行われ、ダリットコミュニティの生活水準を高めるために教育部門におけるプログラムを増やすことについて話し合いが行われました。25人の地方自治体担当者と女性グループのメンバーがこの議論に参加しました。このプログラムでは、33人のダリット女性が無料の性感染チェックを受け、2人の子どもが手術を受け、1人の女性に生計の助けになるよう山羊1頭が提供されました。

7. ピア教育者の交流

各戸訪問においてピア教育者が直面した問題や発見について、2013年6月25日、11月8日、11月16日にそれぞれ開いた会議で報告が行なわれました。30グループから合計30人のピア教育者が参加をしました。会議の議題は次の通りでした：

- 各戸訪問について簡単な話しあい
- 訪問プログラムのレビュー
- 訪問中の問題
- 記入用紙の回収

この話し合いの結果や課題より、FEDOはダリット女性の権利だけではなくダリットコミュニティの経済的發展を助けていることが分かりました。より多くのグループが貯蓄を始めるよう目指しています。協同組合の事務所を作るため、FEDOは協同組合理事のアルヌ・クマル・バスネットさんと会い、ダリットの農業関係の協同組合を作る可能性について協議をしました。協同組合理事のアルヌ・クマル・バスネットさんは必要性について理解をし、設立のために力を貸すと約束しました。

ピア教育者の間の交流会が2013年11月16日FEDOの地区事務所で開かれました。30人の女性たちが参加をしました。

8. 安全な母子保健のトレーニング

浄土宗平和協会支援による本プロジェクトの3年目から、FEDOパルサ支部は“ダリット女性の平等な保健部門へのアクセス”のプログラムを積極的に進めてきました。プログラムは3日間のトレーニングで、安全な母子の保健をテーマにFEDOのメンバーが受けます。今期は2013年11月27、28、29日に開催されました。

そこで話し合われたテーマの一部：

- 安全な母子保健の紹介と安全な母子保健のための主な行政サービス
- 妊娠中に見られる危険な兆候と妊婦の世話
- 分娩・出産時に必要とされる6つの方法と分娩・出産時の緊急事態に備えた準備
- 出産後の危険な兆候と産婦死亡の三大原因

- 分娩・出産時に注意すべき点
- 新生児の世話と出産後の家族計画
- 望ましい次の妊娠の時期

9. 衛生意識高揚の集会

2013年9月13日、保健意識を高めるための集会を開催しました。集会は石鹸での手洗い慣行と外での排泄を止めるための教育に焦点を絞ったものでした。67人の女性と7人の男性が参加をしました。集会で聞いたことを地域で広めてもらうことができ、たいへん効果的でした。

集会の主要なテーマは以下の通りでした：

- ◆ トイレの後と食事の前に石鹸で手を洗おう
- ◆ 外で用を足さないこと、排泄物を片づけること
- ◆ 家の中や周囲は常に片づけてきれいにしておくこと
- ◆ 食べ物を外に出したままにしないこと
- ◆ 水資源を大事にし、ゴミを捨てないこと

10. 支部事務所からのモニター

“ダリット女性の平等な保健部門へのアクセス”のプログラムを評価するため、パルサ支部長のクマリ・ラムは次のグループを訪問して話し合いをもった。

チェタナ、ジャヤ・マハビル、ムルカン、サトマイ、サンガム、ナグワワニ、エカタ、アツマニルヴァル、そして、サンサリマイの各ダリット女性グループ。

クマリ・ラムが把握したダリット女性たちの要求事項は次のようなものである：

- 女性の権利に関するトレーニング
- 女性に対する暴力に関するトレーニング
- スキルトレーニング
- 縫製と裁断のトレーニング
- 手当
- 無料の医療チェック
- 保健トレーニング

今期のプロジェクトの結果は以下の通りです：

- ケディヤ眼科病院は53人のダリット女性に眼に関するトレーニングを提供した。
- 53人のダリット女性は無料の眼の検診を受けた。3人のダリット女性は無料の眼の手術を受けた。
- 全国結核復帰協会（NATA）は結核に関する啓発プログラムを、14人のダリット男性および36人のダリット女性に提供した。
- プロジェクトのあと、ダリット女性たちは子どもの栄養のために政府が提供しているサービスを利用できるようになった。

- ダリット女性たちは健康問題、社会的問題およびDVについて、地方自治体政府や関係者に容易に訴えることができるようになった。数多くのエンパワメントや意識高揚のためのトレーニングや教育プログラムを多くの女性たちが受けた。
- 都市のダリット女性たちは貯蓄に関心を持ち、貯蓄の取り組みに参加する女性は1年前の28人から54人に増えた。出資金も8,400ルピーから20万ルピーに増加した。出資金を教育のためのローンとして利用するメンバーが増えた。
- 戸別訪問プログラムは非常に効果的で、これまで問題を自分の中に抱え、誰にも相談できなかった女性たちがその問題を打ち明けるようになった。例えば、性感染の恐れや膀胱炎の問題、あるいはDVなど。
- 家族計画として避妊具を使うようになった。
- 女性たちは、毎年妊娠することが健康や貧困の問題の主な原因になっていることを理解するようになった。
- 女性たちはピルやリンクなど一時的な避妊具も使うようになった。
- 女性たちは永続的な避妊方法も使うようになった。
- 調整プログラムにより、FEDOは地域の自治体やNGOなどに広く認知されるようになった。また、地区レベルのさまざまな取り組みにも参加する機会をえた。
- FEDOはコミュニティの人びとの手洗い慣行や外でのトイレ禁止などを定着させることに成功した。これにより、人びとは健康的になったし家や近所をきれいにしておくようになった。

11. 中央FEDOからのモニター

FEDOの中央本部のチームはパルサ支部の取り組みにたいへん感銘をうけた。女性たちはエンパワーされ、自分たちの健康の権利に関する問題を認識し、地域レベルでの調整や協働を利用するようになり、利用可能な資源を使って力を高めることに成功している。ダリット女性の中で、貯蓄の習慣を身につけ始めた女性たちもいる。モニターでの訪問中、中央本部のチームはトイレ使用後や野良仕事後に手洗いの習慣がついているのを見た。女性たちは家族計画のために避妊具も使いだした。また、ベールで顔を覆う習慣の廃止が一定進み、女性たちは人がたくさんいる中でも話しができるようになった。

プロジェクト 今後の課題

- ▶ 教育や意識高揚はまだ十分ではないため、女性たちの中にはまだ家族計画を行なうことを恐れている人たちがいる。
- ▶ 金持ちに対して劣等感をもっており、社会のあらゆる場面で自分をひっこめてしまう。
- ▶ カースト差別は社会の大きな問題である。ダリットはミルクを作っているが、市場ではダリットの

作ったミルクを買う人はいない。

- ▶ 貧困はダリットが日々直面している大きな問題である。いわゆる上位カーストや上の階級は、ダリットを低賃金で雇う。そのためダリットは1日働いてようやく4キロのお米が買えるだけである。

フォトギャラリー



ピア教育者交流プログラム



村レベルの交流プログラム



安全な母子保健のトレーニング



FEDO 中央本部からのモニター



FEDO 中央本部からのモニター



FEDO 中央本部からのモニター